

「ハウスマークプロジェクト」中間報告書 ～鶴が丘 NTT 社宅の被災者仮住宅の事例を中心に～

1. 概要

宮城大学伊藤真市研究室では、平成 23 年 6 月より「ハウスマークプロジェクト」という震災復興支援活動を行っております。仮設住宅に住んでいる方々の依頼要望にあった表札のデザインを制作し無償でプレゼントするという活動で、「高森カーサズ」という地域で活動する主婦の震災復興支援団体から、表札制作ができないかという相談依頼を受けたことがきっかけで始まりました。学生のデザインを集めた専用カタログから選んでいただく他、要望があればその都度対応して製作いたします。表札に使用する板は、仙台阿部蒲鉾店様から蒲鉾板と、もくもくランド様から木材を無償で提供していただいております。表札は専用フィルムにデザインをカラープリントしたものを木材に貼りつけて製作し、研究室生がデザインした包装紙に包み、シールを貼り付けてお渡しいたします。なお、平成 23 年 6 月から平成 23 年 10 月までは、もくもくランド様からは木材の端材を無償で提供していただきましたが、平成 23 年 11 月からは加工されている木材を購入しております。

以下、この活動の中の鶴が丘 NTT 社宅(宮城県仙台市泉区鶴が丘 1-23-5)の被災者仮住宅の住民の方々を対象とした活動報告をいたします。

2. 活動記録

1)平成 23 年 10 月 19 日

鶴が丘団地町内会長の小林國男様のご自宅に伺い、NTT 社宅の現状確認と当プロジェクトの概要を説明しました。

その際、今までに制作した表札のサンプルや製作現場の様子、実際に仮設住宅で使用されている様子をパネルにまとめたものを小林様にご覧になっていただきました(右写真)。



そして、小林様が当プロジェクトに全面的にご協力いただけること

になり、住民の方々に対して、表札の作成希望者を募るお声掛けをさせていただきました。

(NTT 社宅内にある掲示板に当プロジェクトの説明書きと直接住民の方々がお名前や部屋番号を書き込める掲示物を掲示していただきました。)

2)平成 23 年 11 月 7 日

小林様のご自宅に伺い、再度当プロジェクトの今後の段取りをお話ししました。この時点では、6 件の表札作製の希望をいただきました。また、小林様から新しく NTT 社宅の一室(313 号室)をその社宅の集会所にするというお話があり、その集会所の名前を考えてほしいとのご依頼を受けました。その後、直接 NTT 社宅へ現状調査のため訪問しました。その際、表札作製希望者の方にご挨拶と表札のデザインの希望を伺いました。

3)平成 23 年 11 月 13 日

小林様が鶴が丘団地の集会で住民の方々に当プロジェクトの概要を説明する機会を設けてくださいましたので、その集会にお伺いしました。その際、表札のサンプルをご覧になっていただいたり、パネルを使用して当プロジェクトの概要を説明しました。この説明により、住民の方々にご興味を持っていただき、新たに 8 件の表札作製のご注文をいただくことができました。

4)平成 23 年 12 月 9 日

小林様のご自宅に伺い、表札作製のご注文をいただいた方々の表札をお渡ししました。

また、12月11日に行われる集会の予定をお伺いし、その際に直接住民の方々に表札をお渡しすることになりました。

5)平成23年12月11日

NTT社宅の集会所(313号室)で行われた集会に伺い、表札作製のご注文をいただいた14件のご注文分の表札をお渡ししました(左下写真)。そして、新たに8件の表札作製のご注文をいただきました。また、私たちの方で集会所(313号室)の名前の候補をいくつか挙げたところ、住民の方々の意見により「ふらっと」に決定しました。また、表札は玄関先のプレートにお掛けすることになりました。(右下写真)



6)平成23年12月29日

当プロジェクトを河北新報の記事に載せていただけることになり、住民の方々への取材に同行しました。この取材は、鶴が丘団地町内会長の小林様と住民でNTT社宅地区(鶴が丘10地区)長になられた須藤富夫様と戸田和子様と河北新報泉支局の片桐大輔様がお話を伺っておられました。

7)平成24年1月22日

NTT社宅の集会所(313号室)で行われた集会に伺い、表札作製のご注文をいただいた8件のご注文分の表札をお渡ししました。また、集会所の表札「ふらっと」のデザイン案を住民の方々にお見せし、ご意見をいただきました。

3. 今後の活動予定

1)集会所の表札「ふらっと」のお渡し

詳細な日程は決定していませんが、できるだけ多くの住民の方々に集まっていただき、その場でお渡ししたいと考えています。

2)表札の作製

現在、鶴が丘NTT社宅では22件の表札作製のご注文いただきお渡ししました。今後新たにご注文をいただける場合、作製しお渡ししていきます。

3)親睦会

この度、鶴が丘NTT社宅の住民の方々には大変ご厚意にいただき、私たち自身も成長することができました。今後もこのコミュニティを絶やさないためにも住民の方々と親睦を深めることができればと思っています。

4)学生団体「One Second Project」との連携

宮城大学の学生団体「One Second Project」と連携を取り、他地域の仮設住宅に表札をお渡しするという計画の準備を進めています。

